

# 沖縄意見広告報告集会

# 6.14

6月8日(日)朝刊に掲載

琉球新報 沖縄タイムス 毎日新聞  
東京新聞の4紙に掲載。ご覧下さい。



基地建設エリア

安倍政権は、来年7月に予定していた「辺野古新米軍基地」工事を、今秋11月県知事選の前に着工しようとしている。そして、集团的自衛権行使容認で平和憲法(9条)を投げ捨てようとしている。新基地建設と集团的自衛権行使は一体です。その目的は日米安保下で日本をアメリカとともに「戦争する国」にしていることです。今こそ、これを止めさせるために声を挙げる時です。

軍事力に頼らない平和を！  
安保掲げ憲法9条の「骨抜き」を許さない！  
今こそ、日米安保条約を見直し破棄するとき！

6月14日(土)17:30~19:30  
協同会館アソシエ3階ホール

プログラム

資料代500円 ※経済的事情ある方は考慮します

- 主催者あいさつ 武 建一(沖縄意見広告運動代表世話人)
- 「日本国憲法改悪について(自民党憲法草案批判)」  
上原公子(元国立市長、脱原発をめざす首長会議事務局長)
- 連帯アピール キム・ウォジン(韓国「反戦平和連帯(準)」幹事)
- NO! オスプレイ西日本キャラバン 活動報告

名護・稲嶺市長訪米に連携し、アメリカワシントンポスト紙(ウェブ版)に英文広告! 全米と全世界に向けて発信されました!  
5月19日(月)~21日(水) この広告に4氏がメッセージを掲載しています。



ノーム・チョムスキーさん(言語学者)



マレイド・マグワイアさん(ノーベル平和賞受賞)



オリバー・ストーンさん(映画監督)



稲嶺進さん(沖縄・名護市長)

●ここで見るができます

英語版 <http://www.okinawaiken.org/washingtonpost/>  
日本語版 [http://www.okinawaiken.org/washingtonpost\\_jp/](http://www.okinawaiken.org/washingtonpost_jp/)

●主催:  
第五期沖縄意見広告運動

大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ内

Tel:06(6328)5677  
Fax:06(6328)5777

mail: info@okinawaiken.org  
web: http://okinawaiken.org



# 辺野古に基地はいらない

# 稲嶺進名護市長のワシントン行動を支援する ワシントンポスト・デジタルへのWeb意見広告 取り組み発表 記者会見の開催について

日 時:2014年5月13日(火) 午前11時～  
会 場:名護市中央公民館2階 第4研修室(市民会館の右隣)  
主 催:第五期沖縄意見広告運動  
出席者:山内徳信(沖縄意見広告運動代表世話人)  
伊波洋一(沖縄意見広告運動米紙意見広告編集責任者)  
安次富浩(沖縄意見広告運動辺野古現地世話人)  
稲嶺進氏(名護市長)

## 沖縄意見広告記者会見が行われました



沖縄意見広告ウェブサイトにて配信中  
<http://www.okinawaiken.org/>  
<http://iwj.co.jp/wj/open/archives/139582>

●**山内徳信**:世界一危険な飛行場は「5年以内に返還する」と言ってから18年経っている。県が辺野古への移転を断ってからも16年が経っている。日米政府の民主主義も人権も環境意識もない不合理な政治を許すわけにはいかない。日本政府はもう相手にならないので、稲嶺市長はアメリカに乗り込んで行って市長と市民の思いを伝える。辺野古の闘いはもはや沖縄県民の闘いに留まらず国際的な闘いになっています。

●**伊波洋一**:前回の訪米の時には普天間基地の閉鎖を中心に取り組んだのですが、今回は辺野古の海を守る事を中心としています。このサイトは名護市サイトに新しく作った英語版のパンフレットにもアクセスできるようにしています。アメリカには沖縄の事が伝わっていない。したがって日米両政府が辺野古に強硬に基地を作ろうとしている事に対して国際世論を喚起するためにこの広告を最大限利用します。

●**稲嶺進氏**:前回の訪米から2年経ち、再び沖縄の事を訴えに訪米します。私は辺野古の海にも陸にも基地を作らせないという公約を掲げて市長選に臨みました。地元が基地建設に反対の意思を示しているのに、日米両政府が建設を進めようとしているのはあまりにも理不尽。この問題はグローバルな拡がりを持っているので前回よりも幅広く多くの人に訴えていきたい。意見広告の力強い後押しによって前回以上の成果を挙げたい。

●**安次富浩**:稲嶺さんの訪米に対して私たちはどういう形でバックアップできるかということで世話人の皆さんと相談して決めました。またヘリ基地反対協としても稲嶺さんの訪米に2人の仲間を派遣します。またサンフランシスコでジュゴン裁判が中断していましたが再開します。また座り込みを10年も続けていますが、政府の圧力には決して屈しない。8月13日には国際署名呼びかけをした方たちを呼んでシンポジウムをします。美ら海を人殺しの軍事基地に変える事を許さず、国際的連携を密にして行きます。

## 今後のスケジュール

■6月6日(金) 12時～1時 意見広告記者会見(参議院議員会館B104)

■6月8日(日) 4紙に意見広告掲載(東京新聞、毎日新聞、琉球新報、沖縄タイムス)

■6月14日(土) 18時～関東・関西同時意見広告報告集会

(東京:連合会館2階大ホール 大阪:協同会館アソシエ3階ホール)

## 第五期沖縄意見広告運動

全国世話人(五十音順、★印は代表世話人)

- 安次富 浩 名護・ヘリ基地反対協議会共同代表
- 伊波 洋一 元宜野湾市長
- 上原 成信 沖縄・一坪反戦地主
- 上原 公子 元国立市長
- 大野 和興 脱WTO/FTA草の根キャンペーン事務局長、日刊ベリタ代表
- 大湾 宗則 京都沖縄県人会
- 尾形 憲 法政大学名誉教授
- 高里 鈴代 基地・軍隊を許さない行動する女たちの会 共同代表
- ★武 建一 連帯労組生コン支部委員長、中小企業組合総合研究所代表
- 照屋 寛徳 衆議院議員
- 野平 晋作 ピースポート共同代表
- 服部 良一 前衆議院議員
- 花輪 伸一 JUCON(沖縄のための日米市民ネットワーク)
- 藤原 好雄 憲法を生かす会・奈良代表委員
- 本山 美彦 京都大学名誉教授、「変革のアソシエ」共同代表
- ★山内 徳信 前参議院議員
- 山城 博治 沖縄平和運動センター議長
- 生田 あい 本部事務局



意見広告運動の缶バッジを作りました。一個200円です。事務局で扱っています。送料は、40個までは80円、41個以上は無料です。

缶バッジ

## ●主催:第五期沖縄意見広告運動

連絡先:〒164-0001 東京都中野区中野2-23-1  
 ニューグリーンビル301 協同センター・東京気付

Tel:03(6382)6537 Fax:03(6382)6538

■メールアドレス [info@okinawaiken.org](mailto:info@okinawaiken.org)

■ホームページ <http://okinawaiken.org>